

## 講演会講師のお願い (表題)

〇〇 様 (宛名=講師)

謹啓

陽春の候、〇〇先生におかれましては、ますますご清栄のことと承ります。

■▲株式会社の×××××××です。(自己紹介) ▽▽年▽▽月▽▽日には、「▼▼▼▼▼」の講演において、講師をおつとめいただきまして、まことにありがとうございました。

お集まりいただきました皆様から、ご好評をいただきました。講演が大成功に終わったのも、ひとえに〇〇先生のおかげであると、心より感謝し、改めて御礼申し上げます。(お礼と反響)

そして、このたび、「〇〇〇」をテーマとした講演会を開催いたす運びとなりました。つきましては、今回も〇〇先生に、下記の要領にてご講演を賜りたく、伏してお願い申し上げます。(目的)

これは、日本経済の行方を占う上で、大きな意味を持つ講演になると確信しております。(補足)

ご多忙中とは存じますが、前回同様何卒講演依頼を快諾いただきますよう、心よりお願い申し上げます。(結び)

謹白

平成◆年◆月◆日 (日付)

▲▲株式会社

代表取締役 ◇◇◇◇

連絡先×××××××

(連絡先)

## 記

日 時 (いつ)	平成■■年■■月■■日 (■曜日)
会 場 (どこで)	〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇 ●●ホテル
テーマ (何を)	「〇〇〇〇〇〇」
時 間 (どのくらい)	午後1時から2時まで (開場12時30分)
講演料 (いくらで)	〇〇, 〇〇〇円 (講演会終了後にお渡しいたします)
対 象 (誰を)	20代後半から30代前半の夫婦
	■■分野の第一人者である (なぜ) 〇〇先生 (誰が) のご実績をもとに、その専門知識を一般の方に啓蒙してください。(どのように)